

オリンピックラウンド・コンパウンドマッチラウンド (個人決勝トーナメント) の説明

競技について

- ・練習は個人決勝トーナメントの前に1分30秒を2回行う。練習時間内の本数制限は設けないが、時間外発射を行わないこと。
- ・個人決勝トーナメントのリカーブはオリンピックラウンド(1分30秒3射)5セットマッチ(6ポイント先取)を行う。
 - ※3位決定戦、優勝決定戦も交互うちを行わずに、同様の行射とする。
- ・個人決勝トーナメントのコンパウンドはコンパウンドマッチラウンド(1分30秒3射)5エンド(合計得点制)を行う。
 - ※3位決定戦、優勝決定戦も交互うちを行わずに、同様の行射とする。
- ・リカーブ70mは122cm的、コンパウンド50mは80cm6リング的を使用して行う。
- ・リカーブの対戦では、各セットの勝者は2ポイント、同点の場合は両選手に1ポイント、シュートオフの勝者は1ポイントを獲得する。各対戦で6ポイント以上に達した選手は勝者となる。
- ・各対戦の立ち位置はトーナメント表どおりとする。(トーナメント表は大会当日発表)

個人決勝トーナメントへの進出・順位決めについて

- ・リカーブ70mラウンド男女各上位16名、コンパウンド50mラウンド上位4名(男女の区別なし)が個人戦決勝ラウンドに進出するものとする。
- ・個人戦決勝トーナメントへの進出および個人戦決勝トーナメントでの同点は10点数、X数を考慮せず、すべてシュートオフで勝敗を決する。
- ・70mラウンドの16位、50mラウンドの4位で同点が生じた場合、1射(30秒)のシュートオフを行い、勝者が個人決勝ラウンドへ進出する。
- ・70mラウンドの1位~15位、50mラウンドの1位~3位で同点が生じた場合は以下のように順位を決定する。
 - ① 10点の数の多いもの。
 - ② X(インナー10)数の多いもの。
 - ③ ①②も同数の場合は、ディスクトスによって順位を決定する。ディスクトスは、競技本部において競技委員長立会いの下で実施する。

対戦がない(bye)選手の練習について(対戦相手が棄権した場合を含む。)

- ・練習は指定された的で行う。
- ・練習はリカーブは3セットまで、コンパウンドは5エンドまでとする。
- ・1セットおよび1エンド内の行射は3本までとする。4本以上行射した選手は、その後の練習を行うことはできないが、次のマッチの制裁の対象とはならない。

次ページに続く

オリンピックラウンド（リカーブ70m）の行射について（1回戦～決勝まで）

- ・ 2名同時行射とし、採点、得点記録は当該選手が行う。3位決定戦、優勝決定戦であっても交互うちは行わず、採点、得点記録も当該選手が行う。
- ・ ブザー2声でSLに入り、ブザー1声で行射を開始する。
- ・ 5セット終了時でセットポイントが同点の場合は、両者同時行射で1射（制限時間30秒）のシュートオフにより勝敗を決定する。
- ・ 1回戦の敗者は全員9位、準々決勝の敗者は全員5位となる。

コンパウンドマッチラウンド（コンパウンド50m）の行射について（1回戦～決勝まで）

- ・ 2名同時行射とし、採点、得点記録は当該選手が行う。3位決定戦、優勝決定戦であっても交互うちは行わず、採点、得点記録も当該選手が行う。
- ・ ブザー2声でSLに入り、ブザー1声で行射を開始する。
- ・ 5エンド終了時で同点の場合は、両者同時行射で1射（制限時間30秒）のシュートオフにより勝敗を決定する。